

東京都事業 令和6年度 西新宿スマートシティプロジェクト  
第1回 西新宿スマートシティ協議会 議事要旨

- 日時： ■ 2024年5月21日（火）15:00～16:00
- 出席者： 【協議会構成員】  
(敬称略) ■ 一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会  
■ 小田急電鉄株式会社  
■ 学校法人工学院大学  
■ KDDI株式会社  
■ 住友不動産株式会社  
■ 損害保険ジャパン株式会社  
■ 大成建設株式会社  
■ 東京ガス株式会社  
■ 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社  
■ 独立行政法人都市再生機構  
■ 株式会社 JTOWER  
■ 東京電力パワーグリッド株式会社  
■ ソフトバンク株式会社  
■ 東日本電信電話株式会社  
■ 株式会社角川アスキー研究所  
■ 株式会社ジョルテ  
■ 新宿区  
■ 東京都 デジタルサービス局  
■ 東京都 都市整備局  
■ 東京都 産業労働局
- 開催方法： ■ オフライン・Web 併用
- 場所： ■ 東京都庁 第一本庁舎 33階 特別会議室 N1
- 議題： 1. 開会の挨拶  
2. 協議会参加者の紹介  
3. 今年度の取組スケジュール  
4. 令和5年度・第3回協議会の意見に対する対応方針  
5. 各部会の目標設定・活動内容  
5-1.スマートサービス実装部会  
5-2.広報・コミュニティ部会  
5-3.データ利活用部会  
6. 推進体制検討の概要

7. 質疑応答・意見交換

8. 閉会の挨拶

資料： 1. 第1回協議会資料

## **1. 開会の挨拶（事務局）《挨拶3分－累計3分》**

- 議事次第（P.1）
- 開会の挨拶（P.2）

（東京都デジタルサービス局）

- さまざまな国のスマートシティ担当者や西新宿エリアで活動している方と会話をする機会が増えている中で、西新宿の取組が先進的で意味のある活動をしていることを実感する機会が多くなっている。一般の方にはスマートシティの言葉だけではわかりにくい側面もあるが、デジタルの力を使い、過ごしやすいまちを実感いただける取組をしたいと考えている。昨年度も自動運転の毎月の試乗会や他のサービスの実証を通して少しずつ成果が見えていると思うため、今年度は西新宿の取組の認知度向上や本協議会の活性化に注力したい。

## **2. 協議会参加者紹介（事務局）**

- 協議会参加者の紹介

## **3. 協議会の取組の方向性と年間スケジュールの確認（事務局）**

- 今年度の取組概要
- 資料の通り説明
- 協議会の取組の方向性
- 資料の通り説明
- 年間スケジュールの確認
- 資料の通り説明

## **4. 令和5年・第3回協議会の意見に対する対応方針**

- 令和5年・第3回協議会の意見に対する対応方針
- 資料の通り説明

## **5. 各部会の目標設定・活動内容**

- 各部会の目標設定・活動内容

### **1.1 スマートサービス実装部会**

- 各取組みについて
- 資料の通り説明

## 1.2 広報・コミュニティ部会

- 各取り組みについて
- 資料の通り説明

## 1.3 データ利活用部会

- 各取り組みについて
- 資料の通り説明

## 6. 推進体制検討の概要

- 令和7年度以降の西新宿スマートシティの推進体制検討について
- 資料の通り説明

## 7. 質疑応答及び意見交換

- 質疑応答及び意見交換

—以下意見交換内容—

(発言者A)

- 西新宿の再整備方針の中に人でにぎわっているパースがあるが、通勤されている方や居住している方、来街者の方など、それぞれの方にとって何が西新宿の魅力になるのかは違うと考えている。特に住民という観点においては、西新宿の再開発が進んでいることもあり、著しく人口が増加している。住民の方において対象となる層は2つだと考えており、1つは新たに入居している家族や新宿というビル街とは違う風情があることに気付いた若いご家庭、もう1つは従前より住んでいる町会を構成されているような方々や熊野神社の近くを取りまとめている方など、まち全体の大きなイベントの意思決定者・上層部を押さえる必要があると考えている。通勤者については、ビルの街区でまちが途切れているため、他のビルに何があるのか、入居されている会社などが一覧で見られるようなものがあると良いのではないかと。まずは西新宿にどのような方々がいるかを確認できると交流も生まれると思う。観光客や来街者については一般的な話にとどまるため、居住者と通勤者についてのアプローチを検討できると良いと思う。

(発言者B)

- 認知度向上が今年度の大きなテーマだと思うが、情報発信の方法や質などについてご意見をいただきたい。

(発言者C)

- 情報発信の質については、メリットを感じるような情報発信が必要だと考える。これまでは深く正確な情報、文字数にすると1～2万字の記事を配信することに評価をいただいていたが、現在はショート動画に変遷しており、短くわかりやすくメリットを感じられるような情報発信が必要だ

と感じている。SNSではXを使っている方が多く、140文字の制限がある中でも、絶妙な情報量を収集する年齢層が多いことが推察される。また動画で情報を収集することも増えており、ビジュアルのないものを長時間見ることは減少しているため、視覚で訴えるものを増やすべきだと考える。

(発言者D)

- イベント情報を収集する中で、視覚で訴えるものは多いのか。

(発言者E)

- PRのプロではないため専門的な内容は言及できないが、イベント情報に関しても視覚で訴えることは重要となる。またイベント情報は網羅的に取得することが難しいため、いつ・どこで・何が行われるかを伝えることが重要になる。まずはイベントが存在していることを伝えることが必要になるため、西新宿でもオープンスペースに関する情報を流通させる必要があると思う。
- 西新宿のオープンスペースに関する情報を流通させるためには、具体的にはイベント会場に関する情報を流すことができると良いと思う。外からはわかりにくい情報も多々あることを実感しているため、基本情報だけでなく、西新宿でどのような会場があるかを伝えていくことも重要だと思う。

(発言者F)

- 地域コミュニティ参画の文脈で、イベントを実施することで地域コミュニティの活性化を見込めると思うが、今後の展望などはいかがか。

(発言者G)

- 新宿中央公園のイベントも多くの方に参加いただいている一方で、リアルがベースでありながらもオンライン参加者も徐々に増えてきている。今後もリアルだけでなく、オンラインの受け口などさまざまな方法で生活者へのアプローチを模索していきたいと思う。多くの方に参加いただくためにイベントの敷居を下げながら実施をしていきたいと思う一方で、回数を増やすとクオリティが下がることもあるため、質を担保しながら実施していきたい。

(発言者H)

- 参加者の声は収集されているか。協議会でも生活者の声を拾って企画に生かしていきたいと考えているため、参考にさせていただきたい。

(発言者I)

- アンケートを実施している。アンケート結果を確認した際に、参加者は家族連れが一番多く、開催時期に関してのご意見をいただくことも多い。

(発言者K)

- まちの声について、西新宿の周辺が変化している中でどのような意見を収集されているか。

(発言者L)

- 地域の方々の声については、新宿駅東口・西口の町会や商店街の方に集まっていたき、まちづくりに関する情報を交換したり、西新宿の懇談会などでは区が進めている内容を共有しながら意見交換を進めたりしているところだ。今後西新宿スマートシティ協議会の中で共有いただいている内容も連携いただけるのではないかと考えている。

## 8. 閉会の挨拶（事務局）

### ■ 閉会の挨拶

(一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会)

- 今年度 1 回目の協議会だが、目標設定を含めて大変重要な会議だったと考えている。
- 本日の資料の中でも今年度はスマートサービスの体験者が 14 万人、コミュニティ活動に参加される方が 900 人、LINE コミュニティ参加者は 2,000 人となっており、非常に大きな数値であると感している。
- 西新宿はワーカーだけでなく、さまざまな方に関与いただいているまちであるため、その点にポテンシャルを感じている。また駅周辺を含めてまちが変化していく中で多くの方々に関わっていただくことが重要な点だと考えている。
- コミュニティ活動に関しても、西新宿スマートシティ協議会の設立当初から「巻き込み活動」と呼んでいるが、巻き込み活動を通して主体的に西新宿に関与いただくことが重要だと思う。西新宿の認知度を上げて、まちに来て実際に体験いただき、その際に意見をデジタルで集められるような仕組みができると良いと考えている。一連のコミュニティ活動に参加された方のモデル像も確認できると良いと思う。
- 環境改善委員会も 15 年目を迎えており、空間が変化していく中で課題解決をしていくことが重要になるため、西新宿スマートシティ協議会の機能を活用しながら突き詰めていきたい。

以上